

令和7年度 「北九州市中小企業振興条例」に基づく 中小企業の振興に関する施策の実施状況報告（概要版）

1 概要

「北九州市中小企業振興条例」第13条に基づき、中小企業の振興に関する施策の実施状況について、毎年、議会に対して報告するとともに、議会への報告後は、速やかに公表するものとする。

2 構成

本報告の作成にあたっては、市内中小企業の現状及び課題、中小企業の振興に関する主な施策について掲載するものとする。

3 報告（主なもの）

（1）市内中小企業の現状について

市内企業の99.8%、従業者数の約8割を占める中小・小規模企業は地域経済の要であり、雇用を支える重要な役割を担うものと認識している。しかしながら、人手不足や高齢化に加え、円安や物価高等の影響による事業環境の変化など、中小企業を取り巻く環境は、非常に厳しいものとなっている。

【中小企業・小規模企業者の企業等数・従業者数】

	全産業	非農林漁業		
		大企業	中小企業	小規模企業者
市内企業数	25,788社・者	60社・者 (0.2%)	25,692社・者 (99.8%)	21,535社・者 (83.6%)
従業者数	341,915人	78,297人 (22.9%)	262,996人 (77.1%)	73,658人 (21.6%)

出典：R3経済センサス（活動調査）

※北九州市内に本社、本店等を置く企業等を記載。

※全産業は、農林漁業含む。

（2）市内中小企業が抱える課題について

令和7年度は、物価高、エネルギー高、構造的な人手不足等、厳しい経営環境に直面しており、省力化等による生産性の向上、価格転嫁による賃上げ原資の確保や職場環境整備等への対応が求められた。

このような諸課題に対し、中小企業が持続的な発展・成長を目指すことができるよう、厳しい経営環境を克服するための「資金繰り支援」、「成長分野等への挑戦に向けた投資促進」、「創業・事業承継を通じた挑戦・自己変革の推進」、「生産性向上に向けた伴走支援」、「人材確保支援」等に取り組む必要がある。

(3) 令和7年度の主な中小企業の振興に関する施策

ア 原油高・資材高対策及び物価高騰等に関する支援

(ア) 原油高・資材高、イラン情勢に伴う影響等に対する事業者総合相談窓口運営事業 (第9条第4項)

原油高・資材高、イラン情勢の影響等を受けた市内中小企業の相談窓口を設置し、セーフティネット保証認定、経営相談、資金繰り相談を行った。

窓口相談件数	145件、
景気対応資金（一般枠、セーフティネット保証5号）認定件数	138件

(イ) 中小企業制度融資（第9条第2項、第4項、第12条）

原油高・資材高、イラン情勢の影響等を受けた市内中小企業に対し、保証料を市が一部負担する等により円滑な資金繰りを支援した。

実行件数	35件、約5億円
------	----------

(ウ) 商店街プレミアム付商品券発行支援事業（第9条第2項、第11条）

福岡県の助成制度と合わせて、商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行を支援した。

発行団体	22団体、発行総額 約69億円
------	-----------------

(エ) 物価高騰に立ち向かう中小企業等に対する生産性向上支援助成金（第9条第1項）

物価高の影響により厳しい経営環境にある中小企業等が行う、生産性向上の取組（省エネ投資、効率化・高収益化等）に要する費用の一部を助成した。

交付件数	105社、交付金額 76,845千円
------	--------------------

イ 生産性向上に関する支援

(ア) 中小企業のDX推進支援事業（第9条第1項）

市内中小企業が取り組むDXを支援するため、事業変革やその計画策定に必要な経費の一部を補助した。

交付件数	11件、交付金額 33,387千円
------	-------------------

(イ) 生産性向上・賃金引上げ応援事業（中小企業賃上げ・雇用安定化サポート事業） (第9条第4項)

市内の中小企業・小規模事業場の生産性向上と最低賃金引上げを応援するため、国の業務改善助成金（生産性向上のための設備投資等への助成）を受けた事業場に対し、上乗せ補助を行った。

交付件数	75件、交付金額 22,737千円
------	-------------------

(ウ) GX推進支援事業（第9条第4項）

2050年カーボンニュートラルを成長の機会と捉え、地域企業のGXビジネスモデル変革や新ビジネス創出を推進するため、企業価値の向上と脱炭素化の両立を図るGX推進の取組みを対象に、補助金を交付した。

交付件数	4社、交付金額	4,323千円
------	---------	---------

ウ 人材確保に関する支援

(ア) U・Iターン応援プロジェクト（第9条第4項）

北九州市へのU・Iターン就職希望者と市内企業のマッチングを図るため、小倉に常設の窓口を設置し、専任コンサルタントによる伴走型の就職支援と職業紹介を実施した。令和7年度は、年間を通じた企業交流イベントや、首都圏在住者を対象としたお試し産業・職場体験ツアー等を実施した。

登録者数	1,286人、求人件数	3,057件、就職決定者数	298人
------	-------------	---------------	------

(イ) 人材を人財に！人的資本経営推進事業（第9条第4項）

常に変わる経営環境に対応しながら企業の持続的な成長につながる「人的資本経営」の推進に向け、企業に必要なマインドを学ぶセミナーを開催し、優秀な人材の育成・確保・活用による企業価値向上を支援した。あわせて、企業が利用可能な国の助成金や市の補助金について紹介し、適切な助成を受けられるように窓口や支援制度を周知した。

セミナー参加数（全10回）	316名（289社）
---------------	------------

(ウ) 従業員エンゲージメントを高める職場環境づくり応援助成金（第9条第4項）

市内中小企業の人手不足や従業員エンゲージメントの向上を支援するため、暑さ対策や休憩室の新設などに要する費用の一部を助成した。

交付件数	5社、交付金額	10,270千円
------	---------	----------

エ 中小企業の事業承継に関する支援

(ア) 事業承継・M&A促進（第9条第1項）

市内中小企業がこれまで培ってきた技術や経済基盤を円滑に次世代へ承継し、企業の持続的な成長と発展につなげるため、専門相談窓口を設置し、幅広い相談に対応するとともに、セミナー開催による事業承継課題の掘り起こしや、事業承継に向けた企業の取組に要する費用助成を行った。

啓発セミナー	4回（132人）
相談対応	34回（27社）
助成金	5件（1,550千円）

(イ) アトツギベンチャー支援（第9条第4項）

市内中小企業の後継者・後継予定者（アトツギ）の育成に向け、アトツギ向けピッチイベントの出場支援を通じた新事業の創出や既存事業の見直しなど、家業変革の取組を支援するとともに、アトツギ同士のコミュニティ・ネットワークの構築支援を行った。

支援アトツギの人数	9人、ピッチイベント出場人数	3人（うち1人決勝大会出場）
-----------	----------------	----------------

オ 受注拡大・販路開拓に関する支援

(ア) 大規模展示会等出展支援助成金（第9条第4項）

市内中小企業が開発した新製品・新技術の販路開拓支援として、多くのバイヤーが訪れる大都市圏での大規模展示会への出展小間料（1小間分）を助成した。

交付件数	11件、交付金額	3,995千円
------	----------	---------

(イ) 中小企業海外展開支援助成金（第9条第4項）

市内中小企業が海外展開に取り組みやすい環境を整えるため、海外での市場調査、見本市出展などに対し、その経費の一部を助成した。

市場調査等助成事業	3件	293千円
海外見本市等出展助成事業	7件	1,864千円
越境EC販路開拓助成事業	1件	246千円

(ウ) 米国関税措置に対する新規チャレンジ支援事業助成金（第9条第1項）

米国関税措置の影響により、取引の縮小が懸念される中小企業が取り組む販路拡大、効率化、事業変革などの新事業展開に要する費用の一部を助成した。

交付件数	2社、交付金額	1,994千円
------	---------	---------

カ 商業・サービス業に関する支援

(ア) 魅力ある商店街づくり支援事業（第11条）

商店街の人材育成や組織の連携強化を促進することで、持続可能な基盤づくりを推進した。また、空き店舗の活用や新たな取組への支援を通じて、地域商業の活性化を図った。さらに集客に向けて「行ってみたくなる」をテーマにした「商店街PR動画コンテスト」を開催した。

商店街担い手人材育成プログラム	参加者数	64名
受講者によるイベント	企画件数	5件
商店街PR動画コンテスト	応募件数	119件

(イ) 繁華街エリアにおける新規出店及びリニューアルに関する補助金（ナイトタイムエコノミー推進プロジェクト）（第11条）

小倉都心部の繁華街エリアで、若者など新たな客層の夜間の誘客が期待できる店舗の新規出店やリニューアルに対し、経費の一部を補助した。

交付件数	1件、交付金額	321千円
------	---------	-------

キ 創業に関する支援

(ア) 北九州テレワークセンター管理運営事業（第9条第1項、第2項）

創業支援の中核施設として北九州テレワークセンターを運営するとともに、創業全般に関する相談窓口を設置、他の関係機関等とも連携した創業支援の取組などを行った。

相談受付件数	718件
--------	------

ク 経営に関する支援

(ア) 中小企業支援センター特定支援事業（第9条第1項、第12条）

地域の中小企業の中核的支援機関である「中小企業支援センター」において、各種の経営相談をワンストップで実施するとともに、経営に関するセミナーの開催やメールマガジン等による施策情報の発信を行った。また、市内中小企業が抱える様々な課題の解決や円滑な事業展開に向けて、各分野の専門家を派遣した。

窓口相談	612件、専門家派遣	21回
------	------------	-----

(イ) 電炉化サプライチェーン対策支援事業（第9条第1項、第12条）

世界的にカーボンニュートラルに向けた取組が進む中で、製鉄業における高炉プロセスから電炉プロセスへの転換に伴い、必要・変更となる技術や市内の企業動向のヒアリングを行うとともに、支援施策の紹介等を行った。

訪問件数	139件
------	------

(ウ) 「未来を担う地域中核企業」成長促進プロジェクト（第9条第1項、第12条）

「地域中核企業」の成長を促進するため、ネットワーキング・セミナーの開催や、コンサルによる伴走支援を通じて、企業の成長につながる事業展開等を後押しするとともに、新たな取組等に対する補助を行った。

ネットワーキング・セミナー	参加者数（全2回）	24名（21社）
新新規事業展開の検討に向けた伴走支援	採択企業	3社
トライアル補助金	交付件数	4社、交付金額 3,802千円

ケ 女性の自分らしい生き方・働き方に関する支援

(ア) 北九州発！「女性が輝くリーディングカンパニー」創出事業（第9条第1項、第4項）

女性が働きやすい職場の拡大に向け、女性活躍のモデル事例となり得る取組に要する費用の一部を助成した。

交付件数	3件、交付金額	13,323千円
------	---------	----------

コ 中小企業に関する施策等情報の発信等

(ア) 中小企業振興施策の情報発信（第9条第9項）

中小企業の振興に関する各種施策について、各種支援メニューを網羅した「北九州市中小企業支援ガイドブック」や毎月発行の広報誌「ネットワーク北九州」、北九州商工会議所や中小企業支援機関のメールマガジンなどの各種情報媒体を通じて、情報発信を行った。

(イ) 各種施策への中小企業の意見反映（第9条第2項、第3項）

中小企業の振興に関する施策の実施にあたり、市内中小企業団体からの要望活動や、関係団体等との意見交換会の開催などを通じて、中小企業の実態の把握と意見反映に努めた。